

意見書案 2 件を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が意見や希望を文書で提出することができるものです。今定例会には、2 件の意見書（案）が提出され可決されました。

これらの意見書は、衆参両院議長と内閣総理大臣ほか、関係大臣へ提出されました。

インボイス制度の実施延期を求める意見書

（概要）ウクライナ侵攻によるサプライチェーンの混乱や円安の影響により、燃油や原材料価格の高騰、食品や生活必需品が大幅な値上げとなっています。

これらの影響から、地域経済を担う中小・小規模事業者は存続の危機に瀕しており、物価高騰対策の支援が求められています。

10月から開始されるインボイス制度の導入は、事業者の事務負担増加を強いるとともに、免税事業者が取引から排除される恐れがあり、様々な中小・小規模事業者をはじめ、農業従事者、フリーランス、文化事業者への影響が見込まれ、さらなる地域経済の衰退が懸念されます。

このことから、下記事項について要望するものです。

- 1 10月1日から導入されるインボイス制度の延期を求める。

保育士配置基準の引き上げによる保育士の増員と処遇改善を求める意見書

（概要）保育園における児童虐待や通園バスに置き去りにされた子どもが命を落とす事故が発生していますが、背景には慢性的な保育士不足が挙げられ、保育士配置基準の見直しが必要となります。

保育士配置基準については、0歳児3人、1～2歳児6人、3歳児20人、4～5歳児30人に対し保育士1人の配置基準となっており、基準制定以来74年間一度も見直しがされていません。

これらのことから、保育士配置基準の抜本の見直しは喫緊の課題であると考え、下記の事項について要望するものです。

- 1 保育士配置基準を引き上げ、保育士の増員を図ること。
- 2 公定価格を引き上げ、保育士等の処遇改善を図ること。

高校生議会傍聴

実際の議会にふれる—安中総合学園生徒 議会傍聴—

令和5年9月19日、安中市議会第3回定例会の一般質問において、安中総合学園の生徒が議会を傍聴しました。

一般質問では活発な議論が交わされ、来庁された高校生も熱心に耳を傾けていました。

議会の傍聴は、普段あまり馴染みのないものですが、傍聴いただきました高校生におかれましては、住民自治の根幹を担う議会に触れることで、何かしら心に残ることがあれば幸いです。

興味を持たれた方は、今後もぜひ傍聴にお越しください。